

(通達) 競技規則の改正について

2025.1.06 (月)

JRFU 通達

ワールドラグビーよりこのほど、下記の通り、2024年11月14日に開催されたワールドラグビー理事会にて承認された世界的試験実施ルールに関する通達が発出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。

ワールドラグビー世界的試験実施ルール

施行日：

- 世界的には、2025年1月1日以降に新たにシーズンが始まる大会またはリーグが対象となるが、日本国内においては2025年4月1日より施行される。
- SVNS：これらの改正は、SVNSにおいてただちに施行される。

また、本通達文書には以下も含まれる：

- ワールドラグビーSVNS（セブンズ）シリーズ2024-25シーズンに実施対象を限定した試験実施ルール
- （競技規則における）用語の変更
- エリートレベルの15人制ラグビーにおけるTMOプロトコルの改正
- SVNS（セブンズ）シリーズにおけるTMOプロトコルの改正

世界的試験実施 - 2025年1月1日より施行（国内では2025年4月1日より施行）

競技規則	概要	競技規則の文言
タイミング		
8.8d	コンバージョンのキック時間が60秒へ短縮	c トライが与えられた時点から 90 60秒以内（競技時間）にキックを行う。ボールが転がり、置き直したとしても同じである。
8.8a	上記に伴う変更	キッカー： a,不適当でない限り、それまでプレーされていたボールを使う。罰：キックは認められない 条項b、c、dをa、b、cに改める。
18.12	ラインアウトの形成まで30秒以内	18.12: 各チームは、 遅延なく マークが示されてから30秒以内にラインアウトを形成する。 罰：フリーキック
ラック・モール・スクラムでのクリーンなプレー		
15.18新条文 (現行の15.18-19を改訂)	ラックベースで9番にスペースを作る	15.18: ラックに参加していたプレーヤーは、ラックの近くにおいてボールを出そうとしている相手側プレーヤーにプレーしてはならない。 罰：ペナルティ
16.18新条文	モールベースで9番にスペースを作る	16.18: モールに参加していたプレーヤーはモールの近く(1m以内)においてボールを出そうとしている相手側プレーヤーにプレーしてはならない。 罰：ペナルティ
19.30a	スクラムで9番にスペースを作る	19.30 スクラムが始まったら、ボールを保持していないチームのスクラムハーフは： a. 両足をスクラムの近くでボールの後ろ、および、スクラムのそばに置いて位置に着くが、フランカーとナンバーエイトのあいだのスペースではない トンネルのセンターラインを超えない位置にいる
ラインアウトでボールがノットストレート		
18.23a	ボールがストレートに投げられなかった場合の制裁を改正する。	18.23 ボールは必ず： マークオブタッチに沿って、ラインアウトのプレーヤーに向かってまっすぐに投げ入れなければならない。 罰：防御側がボールを争うために味方のプレーヤーをリフトしない場合、プレーは続行される。防御側が味方のプレーヤーをリフトしてボールを争った場合ラインアウト、またはスクラムの選択肢。ラインアウトが選択され、ボールが再びまっすぐに投げ入れられなかった場合、最初にボールを投入した方のチームにスクラムが与えられる。

モールは一度止まったらボールをプレーするという改正案、および、プレー再開からのマークに関する改正案は、承認とならなかった。

フィールド内外での制裁プロセスの改正（20分間のレッドカードによる交替など）についての決定は、秋の国際試合ウィンドウ、2025年のシックスネーションズおよびスーパーラグビーシーズン終了後の2025年5月に延期された。

競技規則	概要	競技規則の文言
8.8d	トライ/キックオフ時間の短縮	コンバージョン: 8:8 キッカーは： d. トライが与えられた時から30秒以内(競技時間)に キックを行わなければならない トライが与えられてから45秒以内に、キックを行い、センターからプレーを再開する。 e. トライが与えられ、30秒以上経過した場合、試合再開のキックを行わなければならない。試合再開のキックは、トライが与えられてから45秒以内に行わなければならない。 得点を挙げたチームが、残り30秒を切った時点でトライを断るか、または時間が切れる前にコンバージョンキックを行う場合には、キックオフを行わなければならない。キックオフはトライが与えられたときから45秒以内でなければならない。
12.4		12.4一方のチームが得点した後、相手側は、ハーフウェイライン上の中央、または、その後方からドロップキックを行い、プレーを再開する。この試合再開のキックは、 競技規則第8条の8dおよびeに従ってコンバージョンが蹴られた、あるいは、蹴らないと選択されてから、あるいは、ペナルティゴール、または、ドロップゴールが蹴られてから30秒以内に行われなければならない。

用語の変更

以下の用語を、新たにラグビー競技を観戦する人たちにわかりやすく伝えるために変更する:

現在の用語	新しい用語
ゴールライン (Goal Line)	トライライン (Try Line)
インゴールエリア (In-goal area)	トライゾーン/トライエリア (Try zone/Try area)
ラッチ (Latched)	ブレ・バインド/ブレ・ボンド (Pre-bind/Pre-bound)
ゴールラインドロップアウト (Goal Line drop-out)	トライラインドロップアウト (Try Line drop-out)
一時退出 (Temporary suspension)	イエローカード (Yellow Card)
退場 (Permanent exclusion)	退出/レッドカード (Sent off/Red card)
ノックオン (Knock-on)	ノックフォワード (Knock forward)
ジャッカル/ジャッカラー (Jackal/Jackler)	スティール/スティーラー (Steal/Steaker)

TMOプロトコル

エリート15人制とSVNS（7人制）のTMOプロトコル改正に関する文書は以下を参照すること：

エリート 15 人制: <https://passport.world.rugby/media/kg0dsloa/2025-tmo-protocol-en-approved-by-council-nov-2024.pdf>

SVNS（7人制）: https://passport.world.rugby/media/xdadtktbp/2024-25-7s-tmo-protocol_revision_nov24.pdf

- 通達対象：加盟協会、競技運営関係者、加盟チーム
- 文書作成：日本ラグビーフットボール協会 国際部門・ハイパフォーマンス部門
- 本件についてのお問い合わせ先：（公財）日本ラグビーフットボール協会 ハイパフォーマンス部門審判グループ（referee@rugby-japan.or.jp）